

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	理学療法評価学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対象学年	夜間部2年		学期及び曜時限	後期	教室名	5F機能訓練室
担当教員	小嶋 高広					
実務経験と その関連資格	<p>理学療法士として金沢整形外科クリニック(滋賀県)に7年間、丸太町リハビリテーションクリニック(京都府)に3年間勤務。 主に整形外科疾患・スポーツ障害を有する症例患者を対象とした外来リハビリテーションに従事。年間100症例以上を担当。 筋電図を使用したバイオメカニクス領域の研究発表・論文が複数。 認定理学療法士(運動器)、修士号(スポーツ健康科学)取得。</p>					
《授業科目における学習内容》						
<p>各評価の意義、目的を理解し、正確に実施することができる。必要な評価項目を想起することができる。 各評価手技の意義、目的、種類などを理解し、正確に実施することができる。 評価対象者の問題点の抽出を行うことができる。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>定期試験(50%)、実技試験(50%)</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>いろいろな相手と練習をしていくこと。 慣れてきたら、環境やいろいろな状態を想定して実施しておくこと、より臨床に即した知識・技術が身につくと思います。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>臨床に直結する内容になります。周りとの協力をしながら身につけてください。 お互いに検査し合い、相手が不快にならないようにフィードバックすることも練習になります。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	なぜ評価が必要なのかを説明できる		教科書 プリント	予習:教科書の第1章	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション、評価学総論				
第2回	授業を通じての到達目標	問診などのポイントを理解する		教科書	予習:教科書の第1章	
	各コマにおける授業予定	第1章 一般的評価事項				
第3回	授業を通じての到達目標	伝道路についてのおさらいができる 感覚の種類が説明できる		教科書	予習:感覚の種類について	
	各コマにおける授業予定	第7章 知覚検査				
第4回	授業を通じての到達目標	感覚検査を体験する		教科書	予習:検査方法について	
	各コマにおける授業予定	第7章 知覚検査				
第5回	授業を通じての到達目標	感覚検査・判定ができる		教科書	予習:検査方法・判定基準について	
	各コマにおける授業予定	第7章 知覚検査				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	反射検査の意味がわかる	教科書	予習:伝道路・反射の種類について
	各コマにおける授業予定	第8章 深部腱反射・病的反射		
第7回	授業を通じての到達目標	反射検査と障害をリンクできる	教科書	予習:検査方法について
	各コマにおける授業予定	第8章 深部腱反射・病的反射		
第8回	授業を通じての到達目標	筋緊張の種類を説明できる	教科書	予習:筋緊張について
	各コマにおける授業予定	第10章 筋トーン検査		
第9回	授業を通じての到達目標	筋緊張検査を実施できる	教科書	予習:検査方法について
	各コマにおける授業予定	第10章 筋トーン検査		
第10回	授業を通じての到達目標	協調性について説明できる	教科書	予習:小脳性とパーキンソニズム
	各コマにおける授業予定	第17章 協調性検査		
第11回	授業を通じての到達目標	協調性の検査ができる	教科書	予習:検査方法について
	各コマにおける授業予定	第17章 協調性検査		
第12回	授業を通じての到達目標	バランス検査ができる	教科書	予習:バランスとは
	各コマにおける授業予定	第9章 バランス検査		
第13回	授業を通じての到達目標	リスク管理した上でバランス検査ができる	教科書	予習:検査方法について
	各コマにおける授業予定	第9章 バランス検査		
第14回	授業を通じての到達目標	テストの概要がわかる	教科書	予習:片麻痺の運動障害について
	各コマにおける授業予定	第18章 片麻痺機能検査(Brunnstrom test)		
第15回	授業を通じての到達目標	教科書を見ながら実施できる	教科書	予習:片麻痺の運動障害について
	各コマにおける授業予定	第18章 片麻痺機能検査(Brunnstrom test)		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	理学療法評価学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対象学年	夜間部2年		学期及び曜時限	後期	教室名	5F機能訓練室
担当教員	小嶋 高広	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
各評価の意義、目的を理解し、正確に実施することができる。必要な評価項目を想起することができる。 各評価手技の意義、目的、種類などを理解し、正確に実施することができる。 評価対象者の問題点の抽出を行うことができる。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験(50%)、実技試験(50%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著						
《授業外における学習方法》						
いろいろな相手と練習をしていくこと。 慣れてきたら、環境やいろいろな状態を想定して実施しておく、より臨床に即した知識・技術が身につくと思います。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床に直結する内容になります。周りとの協力をしながら身につけてください。 お互いに検査し合い、相手が不快にならないようにフィードバックすることも練習になります。						
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第16回	授業を通じての到達目標	教科書を見ながら実施できる	教科書	予習:手指テストについて		
	各コマにおける授業予定	第18章 片麻痺機能検査(Brunnstrom test)				
第17回	授業を通じての到達目標	教科書を見ずに実施できる	教科書	予習:上田法について		
	各コマにおける授業予定	第18章 片麻痺機能検査(Brunnstrom test ・ 上田法)				
第18回	授業を通じての到達目標	教科書を見ずに実施できる	教科書	復習:片麻痺検査の暗記		
	各コマにおける授業予定	第18章 片麻痺機能検査(Brunnstrom test ・ 上田法)				
第19回	授業を通じての到達目標	教科書を見ながら実施できる	教科書	予習:SIASについて		
	各コマにおける授業予定	第18章 片麻痺機能検査(SIAS)				
第20回	授業を通じての到達目標	教科書を見ながら実施できる	教科書	予習:SIASについて		
	各コマにおける授業予定	第18章 片麻痺機能検査(SIAS)				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	授業を通じての到達目標	教科書を見ずに実施できる	教科書	予習:検査方法や判定基準の暗記
	各コマにおける授業予定	第18章 片麻痺機能検査(SIAS)		
第22回	授業を通じての到達目標	教科書を見ずに判定できる	教科書	予習:検査方法や判定基準の暗記
	各コマにおける授業予定	第18章 片麻痺機能検査(SIAS)		
第23回	授業を通じての到達目標	意識障害に対する検査の判定ができる	教科書	予習:認知機能・意識障害について
	各コマにおける授業予定	知能・意識障害に対する検査		
第24回	授業を通じての到達目標	知能検査を実施できる	教科書	予習:認知機能・意識障害について
	各コマにおける授業予定	知能・意識障害に対する検査		
第25回	授業を通じての到達目標	脳の解剖(障害部位と症状)について説明できる	教科書	予習:脳機能について
	各コマにおける授業予定	第19章 脳神経検査		
第26回	授業を通じての到達目標	脳の解剖(障害部位と症状)について説明できる	教科書	予習:脳機能について
	各コマにおける授業予定	第19章 脳神経検査		
第27回	授業を通じての到達目標	検査を実施できる	教科書	予習:脳機能について
	各コマにおける授業予定	第20章 高次脳機能検査		
第28回	授業を通じての到達目標	検査を実施できる	教科書	予習:脳機能について
	各コマにおける授業予定	第20章 高次脳機能検査		
第29回	授業を通じての到達目標	いろいろな人に対して検査が正確に実施できる	教科書	予習:各検査方法のおさらい
	各コマにおける授業予定	各種検査のまとめ、応用		
第30回	授業を通じての到達目標	いろいろな状態の人の判定ができる	教科書	予習:各検査方法のおさらい
	各コマにおける授業予定	各種検査のまとめ、応用		